

報告 PTA一日研修 2026年6月6日(土)

信楽たぬきの里散策と京風会席 ラコリーナ満喫の贅沢ツアー

参加者75名

行程

学校発 ～ たぬき村 ～ 一水庵 ～ ラコリーナ近江八幡
～ 学校

研修旅行に参加してみよう

池田 拓矢 さん(1年保護者)

何も考えずに気軽に申し込んだものの、周りはほぼお母さん方だったので、この環境に馴染めるかとても心配でしたが、もう一人お父さんがいて本当に心強かったです。たぬき村ではお椀作りを楽しみ、昼食のすき焼きとビールで一気に緊張の力が抜けました。

旅行中は皆さんの楽しそうな話し声で車内は終始明るく、私もリラックスして過ごせました。最初は不安もありましたが、最後は思い切って参加して本当に良かったと思える楽しい一日になりました。また次回も参加できたらと思います。

美味しい、楽しい、また参加したい一日研修

荒木 貴恵 さん(2年保護者)

日本一大きさを誇るたぬきの焼き物が出迎えてくれたたぬき村で陶芸体験をしました。土に触れる感覚が新鮮で作品づくりに皆さんが夢中になってあっと言う間に時間が過ぎました。焼き上がりが楽しみです。

近江牛のすき焼きランチからのラコリーナではバターと砂糖が香る焼き立てバームクーヘンを美味しくいただき、工場見学も興味深く見学できました。

今日の一日研修を計画して下さいました役員の方、先生のおかげで楽しく充実した一日を過ごす事ができました。

次回もまた参加したいです、ありがとうございました。

参加して良かった一日研修

唐鎌 由紀子 さん(3年保護者)

今回初めてPTA一日研修に参加させていただきました。たぬき村では巨大なたぬき像、無数に並ぶたぬきの置き物に圧倒されながら手びねり(陶芸)体験をしました。思い通りの形にするのが難しかったのですが、やりがいがあった楽しかったです。昼食では牛すきやきを食べながら普段お話しする事がない参加者の方達と子供や学校の事で会話が弾み楽しいひとときでした。最後はラコリーナ近江八幡に移動し緑豊かな自然と美しい建築に癒されながらお買い物やお洒落なカフェで満喫できました。

日常を離れて参加者の方達と親交を深めとても楽しい有意義な一日研修でした。ありがとうございました。

ドキドキから笑顔になった一日

宇佐見 益美 さん(1年保護者)

初めてPTA一日研修に参加しました。行く前は少しドキドキしていましたが、バスの中でビンゴをして、みんなで盛り上がりました。

今回はサプライズで陶芸体験があり、たぬき村へ。日本一大きなたぬきの焼き物が出迎えてくれて、想像以上の大きさにびっくり。写真も撮りました。陶芸は茶碗・コップ・皿から選んで手びねりに挑戦し、私はお皿を作りました。難しくはなかったけれど、手元に届くのは数か月後のことで、今から楽しみです。

昼食のすき焼きもおいしく、最後は「ラコリーナ近江八幡」でお買い物。バスガイドさんのアドバイスでスムーズに楽しめました。

とても充実した一日で、参加して本当によかったです。



Information

これからのイベント&お知らせ

土曜講座

開催日／5月23日(土)実施済み、6月20日(土)実施済み、
11月14日(土)、2月6日(土)
(合計4回)

安城学園高校学園祭

開催日／9月18日(金)・19日(土)

11月PTA一日研修

開催日／11月14日(土)



すべては子どもたちの
笑顔のために



PTA会長

杉浦 仁司

保護者の皆様、日頃よりPTA活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和8年度のPTA会長を務めさせていただきます杉浦仁司と申します。

高校生活の3年間は、子どもたちが自立した大人へと成長するための、かけがえのない大切な時間です。安城学園が110年を越える歴史の中で大切に受け継いできた「真心・努力・奉仕・感謝」の4大精神のもと、生徒たちは日々の学習や部活動、行事を通して、日々たくましく歩みを進めています。

私たち大人の役割は、多感な時期を迎えた子どもたちが、失敗を恐れず安心して新しい挑戦に踏み出せるよう、温かく、時には力強く背中を押してあげることではないでしょうか。

学校と家庭が手を取り合い、緊密に連携しながら、子どもたちが安心して輝ける環境を整えていきたいと考えております。安城学園高校PTAには子どもたちのサポートだけでなく、学園祭の模擬店や1日研修、部活動応援など、大人も楽しめる様々な行事があります。

「すべては子どもたちの笑顔のために」——この言葉を役員一同の合言葉とし、皆様と共に寄り添いながら、充実した楽しいPTA活動を推進してまいります。1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

クラブ応援 保護者の取り組み

吹奏楽部

音楽で繋ぐ仲間との絆



長野 良美さん (3年保護者)

今年度、本校吹奏楽部は多くの新入部員を迎え、総勢約100名の部員で新たな一年をスタートいたしました。学年や経験の異なる仲間が集い、それぞれが同じ目標に向かって歩み始めた姿に、吹奏楽部の新たな可能性と大きな活力を感じています。

吹奏楽部が何よりも大切にしているもの、それは「仲間との絆」です。吹奏

楽は、一人では決して完成することのない音楽です。一人ひとりが自らの役割を果たし、互いの音に耳を傾け、思いを重ねることで初めて一つの音楽が生まれます。その過程では、思い通りにいかず悩むこともあれば、意見がぶつかり合うこともあります。しかし、生徒たちはそうした経験から目を背けることなく、互いを尊重し、支え合いながら、より良い演奏を目指して日々努力を重ねています。その積み重ねは演奏技術の向上だけでなく、人としての思いやりや責任感、協調性を育み、高校生活におけるかけがえのない財産となっています。

また、吹奏楽部には演奏会やコンクールをはじめ、地域での依頼演奏や学校行事など、多くの演奏機会が与えられています。こうした一つひとつの舞台は、生徒たちが日頃の努力の成果を発揮する場であると同時に、多くの方々への感謝を音楽で伝える大切な機会でもあります。演奏を通して聴いてくださる方々の心に寄り添い、喜びや感動を届けたいという思いは、生徒たちの大きな原動力となっています。

このような充実した活動を継続できるのは、日頃より熱意と深い愛情をもってご指導くださる顧問の先生方をはじめ、卒業生や地域の皆様、そして吹奏楽部を温かく支えてくださるすべての関係者の皆様のお力添えがあってこそです。生徒たちは、多くの方々の支えの中で演奏できることへの感謝を胸に、一つひとつの舞台に真摯な気持ちで臨んでいます。この場をお借りし、皆様の温かいご支援とご厚情に、心より御礼申し上げます。

弦楽部

感動をありがとう、そしてこれからも

長田 寛子さん (3年保護者)

弦楽部は、日々の練習を積み重ねながら、さまざまな演奏会に参加しています。昨年はアンサンブルコンテストとグランドコンテストの両方で全国大会に出場するという快挙を成し遂げました。全国の舞台で堂々と演奏する姿を目の当たりにした時は、これまでの努力や仲間との絆が感じられ、胸がいっぱいになるほど感動しました。一人ひとりの真剣な表情と心のこもった音色は、今でも忘れられない思い出です。また、夏には東北の被災地で演奏を行うなど、音楽を通じた交流にも取り組んでいます。子供達を支えてくださる顧問の先生方やコーチの皆様は心より感謝申し上げます。これからも保護者として、その成長と活躍を応援していきたいと思います。



多くの皆さんが笑顔で大活躍中!

PTA 活動レポート!

保護者の皆さんの出会いと活躍の場として、
多彩な行事を設けています。

生徒たちと、学校と、そして保護者同士の交流を
深めながら、多くの経験を共有しましょう。

陸上競技部

最高の舞台へ、つないだバトン

矢嶋 亜希子さん (3年保護者)



0.09秒。昨年のインターハイ予選の東海総体では、そのわずかの差でインターハイ出場を逃し、涙をのみました。その悔しさをバネに、今年の東海総体では男女マイルリレーをはじめ、計15種目21選手が全国切符を手しました。寒い日も暑い日も雨の日も、朝早くから努力を重ねてきた姿を間近で見ただけに、感慨はひとしおです。先生方や仲間の支えを力に変え、目標に向かって練習を積み重ねてきたことが、今回の結果につながったのだと思います。

。「本番はインターハイ」と言い切る主将の覚悟。安城学園での3年間で、ひとまわりもふたまわりも大きくたくましく成長させてくれました。さあ、いよいよ滋賀インターハイ。安学旋風を巻き起こし、最高の舞台で輝く姿を期待しましょう。

女子バスケットボール部

夢に向かって、一歩ずつ

吉田 良一さん (3年保護者)

今年度の女子バスケットボール部は、1・2・3年生がそろい、それぞれの学年が力を合わせながら、日々練習に励んでいます。慣れない寮生活の中でも、競技だけでなく生活面でも互いに支え合い、一人ひとりが成長を続ける姿を大変頼もしく感じています。

思うような結果が出ず、悔しい思いをする試合もあります。しかし、そのたびに課題と真摯に向き合い、試行錯誤を重ねながら、一歩ずつ着実に前進していることが伝わってきます。

選手たち一人ひとりには大きな可能性があり、何か一つのきっかけでチームが大きく飛躍する力を秘めていると信じています。これからも高い目標を掲げ、仲間と切磋琢磨しながら、さらなる高みを目指して挑戦し続けてください。

私たち保護者一同も、選手たちの努力を信じ、夢の実現に向けて全力で応援し、温かく支え続けてまいります。頑張れ、安城学園女子バスケットボール部!



ダンス部

成長

浅井 香織さん (3年保護者)

安城学園ダンス部での日々は娘にとって大きな成長の機会になりました。1年目は慣れずに戸惑う事もありましたが努力が実を結び、1月の予選を安城学園チーム全員で突破。3月の全国大会の舞台上に立てた事は親にとっても大きな喜びでした。

2年生の夏に出場した2つの全国大会もかけがえのない思い出になりました。チーム全員で真剣に踊る姿は何回みても感動します。

その後すぐ部長に就任してからはプレッシャーに潰れそうな時もありましたが、娘なりにチームメイトの声に耳を傾け、イベントの出演、振り付けの考案やスケジュールの調整など多くの仕事をこなしながら頑張っていました。涙を流す事もありましたが、成長の糧になると信じて見守る事しかできませんでした。

安城学園のダンス部で本当に良かったと思う気持ち、支えてくださる方々に感謝を忘れずにさらに高い目標に向かって頑張ってくださいと思っています。



卓球部

応援を力に

矢野 真理さん (3年保護者)



卓球部は1年を通して多くの大会があります。個人戦では仲間同士大きな声援を送り、会場にはナイス、ドンマイ、大丈夫だよ、集中して1本など仲間を励ます声飛び交います。個人で戦う卓球競技は劣勢で追い込まれた時など、仲間からの声援が大きな力となります。団体戦ともなると、保護者を含めた大応援団となり全力で選手達を応援します。今年度のインターハイ予選では、白熱した応援の中、選手達が発揮し、西三河地区で優勝、県で4位となり見事東海総体出場を勝ち取りましたこれからも、先生方、仲間、周りの支えに感謝の気持ちを忘れず、思いきり練習に励み、卓球を楽しんで欲しいと思います。保護者一同応援しています。

バレーボール部

最強で最高の仲間と!!

下村 香織さん (3年保護者)

安城学園に入学して出会った仲間達。日々のきつい練習にも真剣に取り組み、仲間と声を掛け合いながら日々成長していく仲間。嬉しいことばかりではなく、悔しさや迷いを経験しながらも一歩ずつ前に進もうとする姿はとても頼もしく感じます。時にはケンカもしてきたけれど、最後の春高に向けて仲間を信じ、自分を信じて思いっきりプレーして下さい。これまでの努力はきっとみんなの力になる!私達保護者は、どんな結果であっても皆の挑戦を誇りに思い、最後の一球まで全力で支え背中を押し続けます。最強で最高の仲間と頑張れ安学!

